

学校コード F122110106224

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

**意見伺い**

注2

静岡大学

グローバル共創科学部

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人静岡大学  
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画部企画課
職名・氏名	企画戦略係長 <small>サノアキヒロ</small> 佐野明宏
電話番号	054-238-4000
(夜間)	054-238-4000
e-mail	secchi@adb.shizuoka.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

# 目次

グローバル共創科学部

＜グローバル共創科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人静岡大学

## (2) 大学名

静岡大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒422-8529  
静岡県静岡市駿河区大谷836

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ヒヅメ カズユキ) 日詰 一幸 (令和3年4月)		
学部長	(イケダ ケイコ) 池田 恵子 (令和5年4月)		
学科長等	該当なし		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)  
令和5年度に報告する内容 → (5)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
グローバル共創科学部 グローバル共創科学科 学士（学術）	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係 農学関係	4年	115人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	460人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率（控除後）	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	115	-	1.00倍	-	1.00倍	-	
志願者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	374	(-)					
受験者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	229	(-)					
合格者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	125	(-)					
B 入学者数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	115	(-)					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	115 [ - ] ( - )	
2年次	/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	
3年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
4年次	/				- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )
計			- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	115 [ - ] ( - )

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は「」書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和5年度	115 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	0 人	0 人				
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{115} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<グローバル共創科学部 グローバル共創科学科>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	新入生セミナー	1前	2			3						
	教理・データサイエンス入門	1前	1								1	
	情報処理：データサイエンス演習	1前	2				1					
	英語コミュニケーション	1前	2									15
	英語演習	2後	1									3
	基礎英語A	1前		1								6
	基礎英語B	1後		1								7
	基礎英語C	2前		1								3
	中級英語A	1前		2								1
	中級英語B	1後		2								3
	中級英語C	2前		2								2
	中級英語D	2後		2								1
	上級英語A	1前		2								3
	上級英語B	1後		2								1
	上級英語C	2前		2								1
	上級英語D	2後		2								1
	英語インテンシブA	1前		2								1
	英語インテンシブB	1後		2								1
	英語インテンシブC	1前		2								1
	英語インテンシブD	1後		2								1
	総合英語IA	1後		2								3
	総合英語IB	2前		2								1
	総合英語IC	2後		2								1
	総合英語IIA	1後		2								2
	総合英語IIB	2前		2								1
	総合英語IIC	2後		2								1
	総合英語III	3前		2								1
	ESP I (留学)	1前		2								2
	ESP II (地域)	1後		2								1
	アカデミックイングリッシュ	2後		2		1						
	ビジネスイングリッシュ	3後		2								1
	英語海外研修A	1前		2								3
	英語海外研修B	1前		2								2
	スポーツI	2前		1			1	1				4
	スポーツII	2後		1			1					4
	健康体育実技I	1前		1			1					3
	健康体育実技II	1後		1			1					3
	健康体育演習	1前		1								3
	キャリアデザイン	1前		1			1					3
小計(39科目)		-	9	58	0	4	4	1	0	0	48	
教養展開科目	哲学	2前		2								1
	歴史と文化	1後		2								1
	ことばと表現	2前		2								1
	日本国憲法	1後		2		2						
	法と社会	2前		2		2						
	経済と社会	2前		2								1
	現代の社会	1後		2			1					5
	心理学	2前		2			1					
	地域と文化	2前		2								1
	芸術論	2前		2								1
	世界のことばと文化	1後		2								1
	数学の世界	1後		2								1
	教理の構造	2前		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	新入生セミナー	1前	2							5	2	2	
	教理・データサイエンス入門	1前	1										1
	情報処理：データサイエンス演習	1前	2										1
	英語コミュニケーション	1前	2										19
	英語演習	2後	1										3
	基礎英語A	1前		1									8
	基礎英語B	1後		1									11
	基礎英語C	2前		1									3
	中級英語A	1前		2									5
	中級英語B	1後		2									6
	中級英語C	2前		2									2
	中級英語D	2後		2									1
	上級英語A	1前		2									4
	上級英語B	1後		2									2
	上級英語C	2前		2									1
	上級英語D	2後		2									1
	英語インテンシブA (未開講)	1前		2									1
	英語インテンシブB (未開講)	1後		2									1
	英語インテンシブC	1前		2									1
	英語インテンシブD	1後		2									1
	総合英語IA	1後		2									6
	総合英語IB	2前		2									1
	総合英語IC	2後		2									1
	総合英語IIA	1後		2									2
	総合英語IIB	2前		2									1
	総合英語IIC	2後		2									1
	総合英語III	3前		2									1
	ESP I (留学)	1前		2									2
	ESP II (地域)	1後		2									1
	アカデミックイングリッシュ	2後		2					1				
	ビジネスイングリッシュ	3後		2									1
	英語海外研修A	1前		2									2
	英語海外研修B	1前		2									2
	スポーツI	2前		1					1	1			4
	スポーツII	2後		1					1				4
	健康体育実技I	1前		1					1				5
	健康体育実技II	1後		1					1				6
	健康体育演習	1前		1					1				3
	キャリアデザイン	1前		1					1				3
小計(39科目)		-	9	58	0	6	5	2	0	0	0	62	
教養展開科目	哲学	2前		2									1
	歴史と文化	2後		2									1
	ことばと表現	2前		2									1
	日本国憲法	2前		2				2					
	法と社会	2後		2				2					
	経済と社会	2前		2									1
	国際社会と日本	2前		2									1
	現代の社会	2前		2									5
	心理学	2前		2					1				
	地域と文化	2前		2									1
	芸術論	2前		2									1
	世界のことばと文化	1後		2									1
	数学の世界	2後		2									1
	教理の構造	2前		2									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	教養展開科目	自然と物理	2前	2								1
		化学の世界	2前	2								2
		生物と環境	2前	2								3
		地球科学	1後	2								2
		科学と技術	2前	2		1						7
		小計(18科目)	—	0	36	0	4	3	0	0	0	29
		留学生科目	日本語Ⅰ	1前	2							
	日本語Ⅱ		1前	2								1
	日本語Ⅲ		1後	2								1
	日本語Ⅳ		1後	2								1
日本語Ⅴ	2前		2								1	
日本語Ⅵ	2後		2								1	
日本事情	2後		2								1	
小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	5		
学部共通科目	グローバル系科目	Oral Communication I	1後	2		2						2
		Oral Communication II	2前	2		2						2
		Reading & Discussion I	2後	2		2						2
		Reading & Discussion II	3前	2		2						2
		English Writing	3後	2		2						2
		English Presentation	3後	2		2						2
		English Global Studies	3後	2		2						2
		コラボティブ・アプローチ基礎演習	1後	2				2				2
		海外研修プログラムⅠ	1・2前・後	2								2
		海外研修プログラムⅡ	3前・後	2								2
		コラボティブ・ワークスⅠ	2前	1				2				2
		コラボティブ・ワークスⅡ	2後	1				2				2
		コラボティブ・ワークスⅢ	3前	1				2				2
		コラボティブ・ワークスⅣ	3後	1				2				2
		コミュニティサービスラーニング	2後	1								1
		ファシリテーション概論	1後	1								1
		アートラボ	2後	1		1		1				
小計(17科目)	—	10	17	0	3	0	1	2	0	7		
データサイエンス系科目	基礎数学	1前	2			1						
	データサイエンス基礎	1後	1			1						
	データサイエンス演習	1後	1			1						
	データエンジニアリング基礎	2前	2			1						
	AI基礎	2後	1			1					1	
	プログラミング演習Ⅰ	2後	1								1	
	AI演習	3前	1			1					1	
	プログラミング演習Ⅱ	3前	1								1	
	共創科学調査法	2前	2					1			1	
	共創科学実験法(人間科学)	2後	1			2					1	
	共創科学実験法(自然科学)	2後	1				1				1	
小計(11科目)	—	10	4	0	0	4	1	1	0	3		
共創科学系科目	総合人間科学概論	1前	2		4	1						
	バイオエコノミー概論	1前	2		4	2	1	1			2	
	国際地域社会とダイバーシティ	1前	2		3	3	1	1			1	
	コミュニティ基礎論	1前	2		2	2	1	1				
	アートシンキング・デザインシンキング	1前	2					1			1	
小計(5科目)	—	10	0	0	9	5	3	2	0	4		
人文・社会科学系科目	国際地域共生概論A(韓国・日本)	1後	2			2	3	1				
	人間の尊厳と人権	1後	2			3						
	現代社会の認知科学	1後	2			2					1	
	応用倫理学概論	2前	2		1							
	マネジメント論	2後	1								1	
	国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)	2前	2		1				1			
	政治と社会	2後	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	教養展開科目	物理の世界	3前	2								1
		自然と物理	2前	2								1
		化学の世界	2前	2								2
		生活の科学	3前	2								1
		生命科学	3前	2								2
		生物と環境	2前	2								3
		地球科学	2後	2								2
		進化と地球環境	2前	2								2
		科学と技術	2前	2			1					7
		小計(23科目)	—	0	46	0	4	3	0	0	0	35
留学生科目	日本語Ⅰ	1前	2								1	
	日本語Ⅱ	1前	2								2	
	日本語Ⅲ	1後	2								2	
	日本語Ⅳ	1後	2								1	
	日本語Ⅴ	2前	2								1	
	日本語Ⅵ	2後	2								1	
	日本事情	2後	2								1	
	ABPインターンシップ	1前~3後	2								1	
	小計(8科目)	—	0	16	0	0	0	0	0	0	7	
学部共通科目	グローバル系科目	Oral Communication I	1後	2			1					2
		Oral Communication II	2前	2			1					2
		Reading & Discussion I	2後	2			2					1
		Reading & Discussion II	3前	2			2					1
		English Writing	3後	2			2					2
		English Presentation	3後	2			2					2
		English Global Studies	3後	2			2					2
		コラボティブ・アプローチ基礎演習	1後	2					1	1		2
		海外研修プログラムⅠ	1・2前・後	2								3
		海外研修プログラムⅡ	3前・後	2								3
		コラボティブ・ワークスⅠ	2前	1					1	1		2
		コラボティブ・ワークスⅡ	2後	1					1	1		2
		コラボティブ・ワークスⅢ	3前	1					1	1		2
		コラボティブ・ワークスⅣ	3後	1					1	1		2
		コミュニティサービスラーニング	2後	1								1
		ファシリテーション概論	1後	1								1
		アートラボ	2後	1			1		1			
小計(17科目)	—	10	17	0	3	0	2	1	0	9		
データサイエンス系科目	基礎数学	1前	2								1	
	データサイエンス基礎	1後	1				1					
	データサイエンス演習	1後	1				1					
	データエンジニアリング基礎	2前	2				1					
	AI基礎	2後	1								1	
	プログラミング演習Ⅰ	2後	1								1	
	AI演習	3前	1								1	
	プログラミング演習Ⅱ	3前	1								1	
	共創科学調査法	2前	2						1		1	
	共創科学実験法(人間科学)	2後	1					2			1	
	共創科学実験法(自然科学)	2後	1						1		1	
小計(11科目)	—	10	4	0	0	3	2	0	0	5		
共創科学系科目	総合人間科学概論	1前	2			4	1					
	バイオエコノミー概論	1前	2			4	2	1	1		6	
	国際地域社会とダイバーシティ	1後	2			3	3	2			1	
	コミュニティ基礎論	1前	2			2	2	1	1			
	アートシンキング・デザインシンキング	1前	2						1		1	
小計(5科目)	—	10	0	0	9	5	4	1	0	8		
人文・社会科学系科目	国際地域共生概論A(韓国・日本)	1前	2			2	3	1				
	人間の尊厳と人権	1後	2			3						
	現代社会の認知科学	1後	2			2					1	
	応用倫理学概論	2前	2			1						
	マネジメント論	2後	1								1	
	国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)	2前	2			1			1			
	政治と社会	2後	1								1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	人文・社会科学系科目	多文化共生論	2前	2							1	
		地球環境問題と法	2後	2		1						
		臨床心理学概論	2後	2		1						
		スポーツ文化論	2前	2			1	1				
		国際地域共生論C(欧米)	2後	2							1	
		安全とリスクの心理学	2後	2							2	
		現代マーケティング論	2後	1							1	
		アート・デザインコミュニケーション	2前	2				1			1	
		小計(15科目)	—	6	21	0	5	4	2	1	0	8
		自然科学系科目	暮らしの科学	1後	2			1				1
	スポーツ・健康科学		1後	2			1	1				
	人体の構造と機能		2前		2			1				
	カーボンニュートラル科学		2後	2		3	1				1	
	防災・減災論		2後	2			1				1	
	生物多様性保全論		2後	2					1		1	
	遺伝資源・知的所有権論		2後	2							2	
	都市計画論		2後	2				1				
	基礎生物学		2前	2					1			
	基礎化学		2前	2				1				
基礎物理学	2前		2							1		
基礎地学	2前		2							1		
小計(12科目)	—	4	20	0	5	4	1	0	0	7		
コース専門科目	国際地域共生学コース専門科目	国際地域共生学研究Ⅰ	3前		2		4	1	1	2		
		国際地域共生学研究Ⅱ	3後		2		4	1	1	2		
		国際地域共生学演習Ⅰ	4前		2		4	1	1	2		
		国際地域共生学演習Ⅱ	4後		2		4	1	1	2		
		グローバル協力論	3後		2		1					
		国際移動論	3前		2						1	
		エスニシティ論	3後		2					1		
		観光振興論	3後		2						2	
		比較文化から見る法	3前		1		1					
		国際・地域の安全と法	3後		1		2					
	社会的規範とソーシャルインクルージョン	3前		2						1		
	国際地域ケーススタディ	3後		1		4	1	1	2	1		
	国際福祉社会論	3後		2						1		
	住居計画	3前		2			1					
	防災まちづくり	3前		2		1						
	ファッション・セラピューティクス・スタディーズ	3前		1						1		
	表象・メディア・文化	3後		2						1		
	視覚芸術論	3後		2				1				
	芸術と教育	3前		2						1		
	ミュージアム・スタディーズ	3前		2				1				
小計(20科目)	—	0	36	0	6	1	1	2	0	8		
生命圏循環共生学コース専門科目	生命圏循環共生学研究Ⅰ	3前		2		4	5	1				
	生命圏循環共生学研究Ⅱ	3後		2		4	5	1				
	生命圏循環共生学演習Ⅰ	4前		2		4	5	1				
	生命圏循環共生学演習Ⅱ	4後		2		4	5	1				
	環境再生科学	3前		2		1						
	安全管理	3後		2						1		
	資源循環化学	3前		2			1					
	材料科学	3前		2		1	1					
	環境共生社会論	3前		2			1					
	自然災害の現象	3後		2						1		
生命圏循環共生学コース専門科目	森林水文学	3後		2					2			
環境と経済	3前		2		1							
遺伝と進化	3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	人文・社会科学系科目	多文化共生論	2前	2							1	
		地球環境問題と法	2後	2		1						
		臨床心理学概論	2後	2		1						
		スポーツ文化論	2前	2			1	1				
		国際地域共生論C(欧米)	2後	2							1	
		安全とリスクの心理学	2後	2							2	
		現代マーケティング論	2後	1							1	
		アート・デザインコミュニケーション	2前	2					1		1	
		小計(15科目)	—	6	21	0	5	4	3	0	0	8
		自然科学系科目	暮らしの科学	1後	2			1				1
	スポーツ・健康科学		1後	2			1	1				
	人体の構造と機能		2前		2			1				
	カーボンニュートラル科学		2後	2		3	1				1	
	防災・減災論		2後	2			1				1	
	生物多様性保全論		2後	2					1		1	
	遺伝資源・知的所有権論		2後	2							2	
	都市計画論		2後	2				1				
	基礎生物学		2前	2					1			
	基礎化学		2前	2				1				
基礎物理学	2前		2							1		
基礎地学	2前		2							1		
小計(12科目)	—	4	20	0	5	4	1	0	0	7		
コース専門科目	国際地域共生学コース専門科目	国際地域共生学研究Ⅰ	3前		2		4	1	2	1	1	
		国際地域共生学研究Ⅱ	3後		2		4	1	2	1	1	
		国際地域共生学演習Ⅰ	4前		2		4	1	2	1	1	
		国際地域共生学演習Ⅱ	4後		2		4	1	2	1	1	
		グローバル協力論	3後		2		1					
		国際移動論	3前		2						1	
		エスニシティ論	3後		2					1		
		観光振興論	3後		2						2	
		比較文化から見る法	3前		1		1					
		国際・地域の安全と法	3後		1		2					
	社会的規範とソーシャルインクルージョン	3前		2						1		
	国際地域ケーススタディ	3後		1		4	1	2	1	1		
	国際福祉社会論	3後		2						1		
	住居計画	3前		2			1					
	防災まちづくり	3前		2		1						
	ファッション・セラピューティクス・スタディーズ	3前		1						1		
	表象・メディア・文化	3後		2						1		
	視覚芸術論	3後		2				1				
	芸術と教育	3前		2						1		
	ミュージアム・スタディーズ	3前		2				1				
小計(20科目)	—	0	36	0	6	1	2	1	0	8		
生命圏循環共生学コース専門科目	生命圏循環共生学研究Ⅰ	3前		2		4	4	1				
	生命圏循環共生学研究Ⅱ	3後		2		4	4	1				
	生命圏循環共生学演習Ⅰ	4前		2		4	4	1				
	生命圏循環共生学演習Ⅱ	4後		2		4	4	1				
	環境再生科学	3前		2		1						
	安全管理	3後		2						1		
	資源循環化学	3前		2			1					
	材料科学	3前		2		1	1					
	環境共生社会論	3前		2			1					
	自然災害の現象	3後		2						1		
生命圏循環共生学コース専門科目	森林水文学	3後		2					2			
環境と経済	3前		2		1							
遺伝と進化	3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース専門科目	分析化学	3前		2			1						
	農村・森林の環境と法	3前		2		1							
	環境工学	3前		2							1		
	バイオテクノロジー	3前		2							1		
	技術者倫理	3後		1							1		
	環境微生物学	3後		2							2		
	小計(19科目)	—	0	37	0	4	5	1	0	0	8		
	総合人間科学コース専門科目	総合人間科学研究Ⅰ	3前		2		5	3	1				
		総合人間科学研究Ⅱ	3後		2		5	3	1				
		総合人間科学演習Ⅰ	4前		2		5	3	1				
		総合人間科学演習Ⅱ	4後		2		5	3	1				
		発達心理学	3前		2							1	
		知覚・認知心理学	3前		1			1					
		デザイン心理学	3前		1			1					
		社会・集団・家族心理学	3後		2							1	
		身体・認知情報システム論	3後		2							1	
		情報通信技術論	3前		1							1	
		情報通信技術演習	3前		1							1	
		健康・医療心理学	3後		1		1						
コミュニティ心理学		3後		1		1							
運動生理学		3前		2		1							
身体機能のメカニズムと計測		3後		2			1						
スポーツ経営学		3前		2			1						
スポーツ心理学		3後		2							1		
コーチング学		3前		2				1					
スポーツの理論と実践Ⅰ		3前		1		1	2	1					
スポーツの理論と実践Ⅱ		3後		1		1	2	1					
人間科学の課題と法		3後		1		1							
人間行動科学と刑事政策		3後		1		1							
ウェルビーイングの哲学	3前		1		1								
生命・医療倫理学	3前		1		1								
小計(24科目)	—	0	36	0	5	3	1	0	0	5			
学部共通科目	卒業研究	4通	6	0	0	13	9	3	2	0	0		
	小計(1科目)	—	6	0	0	13	9	3	2	0	0		
合計(188科目)	—	55	279	0	13	9	3	2	0	102			
卒業要件及び履修方法													
必修科目55単位、選択科目69単位(うち教養科目から11単位以上、グローバル系科目から6単位以上、データサイエンス系科目から2単位以上、人文・社会科学系科目から8単位以上、自然科学系科目から8単位以上、コース専門科目から26単位以上)の計124単位以上を修得すること。なお、教養科目の選択科目11単位のうち、教養展開科目から4単位、また、コース専門科目の選択科目26単位のうち、3年時から選択するコースに応じた研究Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱの4科目計8単位を選択必修とする。													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース専門科目	分析化学	3前		2			1						
	農村・森林の環境と法	3前		2		1							
	環境工学	3前		2							1		
	バイオテクノロジー	3前		2							1		
	技術者倫理	3後		1							1		
	環境微生物学	3後		2							2		
	小計(19科目)	—	0	37	0	4	4	1	0	0	8		
	総合人間科学コース専門科目	総合人間科学研究Ⅰ	3前		2		5	3	1				
		総合人間科学研究Ⅱ	3後		2		5	3	1				
		総合人間科学演習Ⅰ	4前		2		5	3	1				
		総合人間科学演習Ⅱ	4後		2		5	3	1				
		発達心理学	3前		2							1	
		知覚・認知心理学	3前		1			1					
		デザイン心理学	3前		1			1					
		社会・集団・家族心理学	3後		2							1	
		身体・認知情報システム論	3後		2							1	
		情報通信技術論	3前		1							1	
		情報通信技術演習	3前		1							1	
		健康・医療心理学	3後		1		1						
コミュニティ心理学		3後		1		1							
運動生理学		3前		2		1							
身体機能のメカニズムと計測		3後		2			1						
スポーツ経営学		3前		2			1						
スポーツ心理学		3後		2							1		
コーチング学		3前		2				1					
スポーツの理論と実践Ⅰ		3前		1		1	2	1					
スポーツの理論と実践Ⅱ		3後		1		1	2	1					
人間科学の課題と法		3後		1		1							
人間行動科学と刑事政策		3後		1		1							
ウェルビーイングの哲学	3前		1		1								
生命・医療倫理学	3前		1		1								
小計(24科目)	—	0	36	0	5	3	1	0	0	5			
学部共通科目	卒業研究	4通	6	0	0	13	9	3	2	0	0		
	小計(1科目)	—	6	0	0	13	9	3	2	0	0		
合計(194科目)	—	55	291	0	13	8	4	1	0	127			
卒業要件及び履修方法													
必修科目55単位、選択科目69単位(うち教養科目から11単位以上、グローバル系科目から6単位以上、データサイエンス系科目から2単位以上、人文・社会科学系科目から8単位以上、自然科学系科目から8単位以上、コース専門科目から26単位以上)の計124単位以上を修得すること。なお、教養科目の選択科目11単位のうち、教養展開科目から4単位、また、コース専門科目の選択科目26単位のうち、3年時から選択するコースに応じた研究Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱの4科目計8単位を選択必修とする。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

<p><b>【教養基礎科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の見直しのため、「新入生セミナー」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5、准教授2、講師2」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「情報処理・データサイエンス演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「英語コミュニケーション」の専任教員等の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任19」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「基礎英語A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任8」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「基礎英語B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「中級英語A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「中級英語B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「上級英語A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「上級英語B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「総合英語I A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任6」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「英語海外研修A」の専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「健康体育実技I」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼任3」から「准教授1、兼任・兼任5」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「健康体育実技II」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任・兼任3」から「准教授1、兼任・兼任6」に変更。</li></ul> <p><b>【教養展開科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育課程の充実を図るため、「国際社会と日本」「物理の世界」「生活の科学」「生命科学」「進化と地球環境」を追加。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「歴史と文化」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「日本国憲法」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「法と社会」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「現代の社会」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「数学の世界」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「地球科学」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。</li></ul> <p><b>【留学科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の見直しのため、「日本語II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「日本語III」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。</li><li>・教育課程の充実を図るため、「ABPインターナシップ」を追加。</li></ul> <p><b>【グローバル系科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の見直しのため、「Oral Communication I」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「Oral Communication II」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「Reading &amp; Discussion I」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授2、兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「Reading &amp; Discussion II」の専任教員等の配置を「教授2、兼任・兼任2」から「教授2、兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「コラボラティブ・アプローチ基礎演習」の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任2」から「講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「海外研修プログラムI」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。</li><li>・担当教員の見直しのため、「海外研修プログラムII」の専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「コラボラティブ・ワークスI」の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任2」から「講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「コラボラティブ・ワークスII」の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任2」から「講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「コラボラティブ・ワークスIII」の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任2」から「講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「コラボラティブ・ワークスIV」の専任教員等の配置を「助教2、兼任・兼任2」から「講師1、助教1、兼任・兼任2」に変更。</li></ul> <p><b>【データサイエンス系科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の退職のため、「基礎数学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「AI基礎」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「AI演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「共創科学調査法」の専任教員等の配置を「助教1、兼任・兼任1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。</li></ul> <p><b>【共創科学系科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の見直しのため、「バイオエコノミー概論」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師1、助教1、兼任・兼任2」から「教授4、准教授2、講師1、助教1、兼任・兼任6」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「国際地域社会とダイバーシティ」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域社会とダイバーシティ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師1、助教1、兼任・兼任1」から「教授3、准教授3、講師2、兼任・兼任1」に変更。</li></ul> <p><b>【人文・社会科学系科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・履修の選択肢を拡げるため、「国際地域共生概論A（静岡・日本）」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域共生概論B（アジア・オセアニア）」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1」に変更。</li></ul> <p><b>【国際地域共生学コース専門科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域共生学研究I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教2」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域共生学研究II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教2」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域共生学演習I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教2」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域共生学演習II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教2」から「教授4、准教授1、講師2、助教1」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「エスニシティ論」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「社会的排除とソーシャルインクルージョン」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。</li><li>・担当教員の昇任のため、「国際地域ケーススタディ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師1、助教2、兼任・兼任1」から「教授4、准教授1、講師2、助教1、兼任・兼任1」に変更。</li></ul> <p><b>【生命圏循環共生学コース専門科目】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の退職のため、「生命圏循環共生学研究I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授5、講師1」から「教授4、准教授4、講師1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「生命圏循環共生学研究II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授5、講師1」から「教授4、准教授4、講師1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「生命圏循環共生学演習I」の専任教員等の配置を「教授4、准教授5、講師1」から「教授4、准教授4、講師1」に変更。</li><li>・担当教員の退職のため、「生命圏循環共生学演習II」の専任教員等の配置を「教授4、准教授5、講師1」から「教授4、准教授4、講師1」に変更。</li><li>・履修の選択肢を拡げるため、「森林水文学」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。</li></ul> <p><b>【卒業研究】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当教員の退職及び担当教員の昇任のため、「グローバル共創科学卒業研究」の専任教員等の配置を「教授13、准教授9、講師3、助教2」から「教授13、准教授8、講師4、助教1」に変更。</li></ul>
---

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	159 科目	0 科目	188 科目	29 科目 [ 0 ]	165 科目 [ 6 ]	0 科目 [ 0 ]	194 科目 [ 6 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	英語インテンシブA	2	1前	一般	選択	隔年開講のため
2	英語インテンシブB	2	1後	一般	選択	隔年開講のため
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

### (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該授業科目は教養科目の選択科目であり、次年度以降の開講により履修が可能である。なお、隔年開講であることは、学生には全学教育科目履修案内にて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{188} = \boxed{1.06}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校舎敷地	282,046㎡	㎡	㎡	282,046㎡					
	運動場用地	84,519㎡ <del>84,654㎡</del>	㎡	㎡	84,519㎡ <del>84,654㎡</del>	三保団地を県へ返却に伴い、135㎡減 (5)				
	小 計	366,565㎡ <del>366,700㎡</del>	㎡	㎡	366,565㎡ <del>366,700㎡</del>					
	そ の 他	3,737,859㎡ <del>3,754,640㎡</del>	㎡	㎡	3,737,859㎡ <del>3,754,640㎡</del>	藤枝団地の機能補償に伴い、16,781㎡減 (5)				
	合 計	4,104,424㎡ <del>4,121,340㎡</del>	㎡	㎡	4,104,424㎡ <del>4,121,340㎡</del>					
(2) 校 舎	専 用	183,194㎡ <del>183,227㎡</del> <del>(183,227㎡)</del>	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	城北団地の渡り廊下取り壊しに伴い、33㎡減 (5)				
		( ㎡)	( ㎡)	( ㎡)	183,194㎡ <del>183,227㎡</del> <del>(183,227㎡)</del>					
(3) 教 室 等	講 義 室	20室	演 習 室	20室	実験実習室	0室	情報処理学習施設	3室 (補助職員 0人)	語学学習施設	6室 (補助職員 0人)
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		専任教員1名辞任のため (5)			
		グローバル共創科学部 グローバル共創科学科		26 27		室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	図書、学術雑誌、電子ジャーナル及び視聴覚資料は、研究科単位での特定不能なため、大学全体の数 図書、視聴覚資料(上段)：重複資料の除籍を行ったため 図書、視聴覚資料(下段)：資料受入、除籍を行ったため 雑誌：電子化による冊子の契約中止が予定より進まなかったため (5)		
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル						
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点				
	グローバル共創科学部	1,202,500 [343,660] <del>1,213,000 [350,450]</del> (1,194,494 [342,593]) <del>(1,206,585 [348,949])</del>	20,815 [6,647] <del>20,715 [6,560]</del> (20,779 [6,639]) <del>(20,647 [6,551])</del>	5,450 [5,440] <del>5,500 [5,488]</del> (5,406 [5,392]) <del>(5,489 [5,477])</del>	6,255 <del>6,605</del> (6,120) <del>(6,605)</del>	0	0			
計	1,202,500 [343,660] <del>1,213,000 [350,450]</del> (1,194,494 [342,593]) <del>(1,206,585 [348,949])</del>	20,815 [6,647] <del>20,715 [6,560]</del> (20,779 [6,639]) <del>(20,647 [6,551])</del>	5,450 [5,440] <del>5,500 [5,488]</del> (5,406 [5,392]) <del>(5,489 [5,477])</del>	6,255 <del>6,605</del> (6,120) <del>(6,605)</del>	0	0				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 座席の配置変更を行ったため (5)			
	12,251㎡		1,081 <del>1,095</del>		1,106,652					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体	
	3,970㎡		水泳プール、テニスコート、武道場、弓道場ほか							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円			
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字にしてください。**
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	静岡大学										0	0	0	0	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AO期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度				
人文社会科学部	4	415	3年次5	1775	-	1.02	1.02	1.07	1.02	-	-	静岡県静岡市駿河区大谷836番地	令和2～令和4年度入学定員450名		
社会学科	4	60	-	270	学士(社会学又は学術)	1.01	-	1.08	1.04	-	昭和57	同上	令和2～令和4年度入学定員70名		
言語文化学科	4	69	-	294	学士(文学又は学術)	1.04	-	1.11	1.03	-	平成4	同上	令和2～令和4年度入学定員75名		
法学科	4	84	3年次2	358	学士(法学又は学術)	1.01	-	1.03	0.99	-	昭和53	同上	令和2～令和4年度入学定員90名		
法学科(夜間主コース)	4	30	3年次3	126	学士(法学)	0.99	-	1.06	0.96	-	平成8	同上			
経済学科	4	142	-	607	学士(経済学又は学術)	1.03	1.03	1.08	1.04	-	昭和53	同上	令和2～令和4年度入学定員155名		
経済学科(夜間主コース)	4	30	-	120	学士(経済学)	1.00	-	1.11	1.01	-	平成8	同上			
教育学部	4	260	-	1160	-	1.01	1.01	1.02	1.01	-	-	静岡県静岡市駿河区大谷836番地	令和2～令和4年度入学定員300名		
学校教育教員養成課程	4	260	-	1160	学士(教育学)	1.01	1.01	1.02	1.01	-	平成10	同上	令和2～令和4年度入学定員300名		
情報学部	4	235	-	970	-	1.02	-	1.11	1.04	-	-	静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号	令和2～令和4年度入学定員245名		
情報科学科	4	98	-	398	学士(情報学)	1.04	-	1.15	1.06	-	平成8	同上	令和2～令和4年度入学定員100名		
行動情報学科	4	69	-	279	学士(情報学)	1.01	-	1.07	1.01	-	平成28	同上	令和2～令和4年度入学定員70名		
情報社会学科	4	68	-	293	学士(情報学又は学術)	1.02	-	1.08	1.04	-	平成8	同上	令和2～令和4年度入学定員75名		
理学部	4	230	-	950	-	1.02	-	1.06	1.01	-	-	静岡県静岡市駿河区大谷836番地	令和2～令和4年度入学定員240名		
数学科	4	38	-	152	学士(理学)	1.02	-	1.02	0.96	-	昭和40	同上			
物理学科	4	48	-	192	学士(理学又は学術)	1.04	-	1.17	1.11	-	昭和40	同上			
化学科	4	48	-	204	学士(理学又は学術)	1.03	-	1.05	1.01	-	昭和40	同上	令和2～令和4年度入学定員52名		
生物科学科	4	48	-	204	学士(理学又は学術)	1.01	-	0.99	0.97	-	平成18	同上	令和2～令和4年度入学定員52名		
地球科学科	4	48	-	198	学士(理学又は学術)	1.00	-	1.04	1.00	-	平成18	同上	令和2～令和4年度入学定員50名		
工学部	4	540	-	2190	-	1.02	-	1.07	1.02	-	-	静岡県浜松市中区城北三丁目5番1号	令和2～令和4年度入学定員550名		
機械工学科	4	160	-	664	学士(工学又は学術)	1.03	-	1.11	1.05	-	平成7	同上	令和2～令和4年度入学定員168名		
電気電子工学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.02	-	1.09	1.02	-	平成7	同上			
電子物質科学科	4	110	-	440	学士(工学)	1.01	-	1.04	1.00	-	平成25	同上			
化学バイオ工学科	4	110	-	446	学士(工学又は学術)	1.00	-	1.02	0.99	-	平成25	同上	令和2～令和4年度入学定員112名		
数理システム工学科	4	50	-	200	学士(工学)	1.02	-	1.07	1.06	-	平成25	同上			
農学部	4	175	3年次10	750	-	1.02	-	1.04	1.01	-	-	静岡県静岡市駿河区大谷836番地	令和2～令和4年度入学定員185名		
生物資源科学科	4	105	3年次7	464	学士(農学又は学術)	1.02	-	1.04	1.01	-	平成28	同上	令和2～令和4年度入学定員115名		
応用生命科学科	4	70	3年次3	286	学士(農学)	1.02	-	1.05	1.02	-	平成28	同上			
グローバル共創科学部	4	115	-	115	-	1.00	-	1.00	-	-	-	静岡県静岡市駿河区大谷836番地			
グローバル共創科学科	4	115	-	115	学士(学術)	1.00	-	1.00	-	-	令和5	同上			
大学全体	4	1970	3年次15	7910	-	-	-	-	-	-	-	-			



- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。  
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
  - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
  - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
  - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<グローバル共創科学部 グローバル共創科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平井浩文 <令和5年4月> 博士(農学)
		新入生セミナー バイオエコノミー概論※ カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境再生科学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	江口昌克 <令和5年4月> 教育学修士
		総合人間科学概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 臨床心理学概論 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 健康・医療心理学 コミュニティ心理学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	堂園俊彦 <令和5年4月> 博士(文学)
		新入生セミナー 総合人間科学概論※ コミュニティ基礎論※ 人間の尊厳と人権※ 応用倫理学概論 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ ウェルビーイングの哲学 生命・医療倫理学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	下村勝 <令和5年4月> 博士(工学)
		アートラボ※ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ 暮らしの科学※ カーボンニュートラル科学※ 材料科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平井浩文 <令和5年4月> 博士(農学)
		新入生セミナー バイオエコノミー概論※ カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境再生科学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	江口昌克 <令和5年4月> 教育学修士
		総合人間科学概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 臨床心理学概論 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 健康・医療心理学 コミュニティ心理学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	堂園俊彦 <令和5年4月> 博士(文学)
		新入生セミナー 総合人間科学概論※ コミュニティ基礎論※ 人間の尊厳と人権※ 応用倫理学概論 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ ウェルビーイングの哲学 生命・医療倫理学 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	下村勝 <令和5年4月> 博士(工学)
		<b>新入生セミナー</b> アートラボ※ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ 暮らしの科学※ カーボンニュートラル科学※ 材料科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	REDFORD STEVEN WADE <令和5年4月> 上級日本研究修士(イギリス)
		Oral Communication I Oral Communication II Reading & Discussion I Reading & Discussion II English Writing English Presentation English Global Studies 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	Greenidge Darius C <令和5年4月> Doctor of Philosophy(Science, Geology and Environmental Science)(米国)
		アカデミックイングリッシュ Oral Communication I Oral Communication II Reading & Discussion I Reading & Discussion II English Writing English Presentation English Global Studies 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	朱暉 <令和5年4月> 博士(法学)
		法と社会 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 比較文化から見る法 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	吉川真理 <令和5年4月> 法学博士
		法と社会 総合人間科学概論※ 総合人間科学研究 I 総合人間科学研究 II 総合人間科学演習 I 総合人間科学演習 II 人間科学の課題と法 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	杉山康司 <令和5年4月> 博士(スポーツ健康科学)
		総合人間科学概論※ スポーツ・健康科学※ 総合人間科学研究 I 総合人間科学研究 II 総合人間科学演習 I 総合人間科学演習 II 運動生理学 スポーツの理論と実践 I※ スポーツの理論と実践 II※ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	REDFORD STEVEN WADE <令和5年4月> 上級日本研究修士(イギリス)
		Oral Communication I Oral Communication II Reading & Discussion I Reading & Discussion II English Writing English Presentation English Global Studies 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	Greenidge Darius C <令和5年4月> Doctor of Philosophy(Science, Geology and Environmental Science)(米国)
		アカデミックイングリッシュ Reading & Discussion I Reading & Discussion II English Writing English Presentation English Global Studies 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	朱暉 <令和5年4月> 博士(法学)
		法と社会 国際地域共生学研究 I 国際地域共生学研究 II 国際地域共生学演習 I 国際地域共生学演習 II 比較文化から見る法 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	吉川真理 <令和5年4月> 法学博士
		法と社会 総合人間科学概論※ 総合人間科学研究 I 総合人間科学研究 II 総合人間科学演習 I 総合人間科学演習 II 人間科学の課題と法 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	杉山康司 <令和5年4月> 博士(スポーツ健康科学)
		総合人間科学概論※ スポーツ・健康科学※ 総合人間科学研究 I 総合人間科学研究 II 総合人間科学演習 I 総合人間科学演習 II 運動生理学 スポーツの理論と実践 I※ スポーツの理論と実践 II※ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	正木祐史 <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法 国際地域社会とダイバーシティ ※ 人間の尊厳と人権※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 国際・地域の安全と法※ 人間行動科学と刑事政策 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	池田恵子 <令和5年4月> 修士(社会学)※
		新入生セミナー バイオエコノミー概論※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 防災・減災論※ 国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ グローバル協力論 国際地域ケーススタディ 防災まちづくり グローバル共創科学卒業研究
専	教授	板倉美奈子 <令和5年4月> 法学修士※
		日本国憲法 バイオエコノミー概論※ 人間の尊厳と人権※ 地球環境問題と法 農村・森林の環境と法 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 国際・地域の安全と法※ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	水谷洋一 <令和5年4月> 経済学修士※
		カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境と経済 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	青木憲治 <令和5年4月> 博士(工学)
		科学と技術※ 資源循環化学 材料科学※ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	正木祐史 <令和5年4月> 博士(法学)
		日本国憲法 国際地域社会とダイバーシティ ※ 人間の尊厳と人権※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 国際・地域の安全と法※ 人間行動科学と刑事政策 グローバル共創科学卒業研究
専	教授	池田恵子 <令和5年4月> 修士(社会学)※
		新入生セミナー バイオエコノミー概論※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 防災・減災論※ 国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ グローバル協力論 国際地域ケーススタディ 防災まちづくり グローバル共創科学卒業研究
専	教授	板倉美奈子 <令和5年4月> 法学修士※
		<b>新入生セミナー</b> 日本国憲法 バイオエコノミー概論※ 人間の尊厳と人権※ 地球環境問題と法 農村・森林の環境と法 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 国際・地域の安全と法※ グローバル共創科学卒業研究
専	教授	水谷洋一 <令和5年4月> 経済学修士※
		カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境と経済 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	青木憲治 <令和5年4月> 博士(工学)
		科学と技術※ 資源循環化学 材料科学※ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ カーボンニュートラル科学※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	須藤智 <令和5年4月> 博士(心理学)
		キャリアデザイン※ 心理学 共創科学実験法(人間科学)※ 総合人間科学概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 現代社会の認知科学※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 知覚・認知心理学 デザイン心理学 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	富田涼都 <令和5年4月> 博士(環境学)
		現代の社会※ バイオエコノミー概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境共生社会論 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	石川宏之 <令和5年4月> 博士(工学)
		国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 都市計画論 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 住居計画 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	堀池徳祐 <令和5年4月> 博士(工学)
		データサイエンス基礎 データサイエンス演習 データエンジニアリング基礎 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 遺伝と進化 グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	須藤智 <令和5年4月> 博士(心理学)
		キャリアデザイン※ 心理学 共創科学実験法(人間科学)※ 総合人間科学概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 現代社会の認知科学※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 知覚・認知心理学 デザイン心理学 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	富田涼都 <令和5年4月> 博士(環境学)
		現代の社会※ バイオエコノミー概論※ 国際地域社会とダイバーシティ※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 環境共生社会論 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	石川宏之 <令和5年4月> 博士(工学)
		<b>新入生セミナー</b> 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ 都市計画論 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 住居計画 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	堀池徳祐 <令和5年4月> 博士(工学)
		<b>新入生セミナー</b> データサイエンス基礎 データサイエンス演習 データエンジニアリング基礎 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 遺伝と進化 グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	祝原豊 <令和5年4月> 教育学修士
		スポーツⅠ スポーツⅡ 国際地域社会とダイバーシティ※ 現代社会の認知科学※ スポーツ・健康科学※ 人体の構造と機能 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 身体機能のメカニズムと計測 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	村田真一 <令和5年4月> 修士(体育学)
		健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ 共創科学実験法(人間科学)※ コミュニティ基礎論※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ スポーツ文化論※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ スポーツ経営学 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	崔宰薫 <令和5年4月> 博士(農学)
		分析化学 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 基礎化学 グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	八柳祐一 <令和5年4月> 博士(理学)
		基礎数学 情報処理・データサイエンス演習 AI基礎 AI演習 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ グローバル共創科学卒業研究
専	講師	平嶋裕輔 <令和5年4月> 博士(コーチング学)
		スポーツⅠ コミュニティ基礎論※ スポーツ文化論※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ コーチング学 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	祝原豊 <令和5年4月> 教育学修士
		スポーツⅠ スポーツⅡ 国際地域社会とダイバーシティ※ 現代社会の認知科学※ スポーツ・健康科学※ 人体の構造と機能 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ 身体機能のメカニズムと計測 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	村田真一 <令和5年4月> 修士(体育学)
		健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ 共創科学実験法(人間科学)※ コミュニティ基礎論※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ スポーツ文化論※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ スポーツ経営学 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究
専	准教授	崔宰薫 <令和5年4月> 博士(農学)
		分析化学 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 基礎化学 グローバル共創科学卒業研究
兼任	講師	八柳祐一 <令和6年10月> 博士(理学)
		AI基礎 AI演習
専	講師	平嶋裕輔 <令和5年4月> 博士(コーチング学)
		<b>新入生セミナー</b> スポーツⅠ コミュニティ基礎論※ スポーツ文化論※ 総合人間科学研究Ⅰ 総合人間科学研究Ⅱ 総合人間科学演習Ⅰ 総合人間科学演習Ⅱ コーチング学 スポーツの理論と実践Ⅰ※ スポーツの理論と実践Ⅱ※ グローバル共創科学卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小池亨 <令和5年4月> 博士(理学)
		共創科学実験法(自然科学) バイオエコノミー概論※ 生物多様性保全論※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 基礎生物学 グローバル共創科学卒業研究
専	講師	立花由美子 <令和5年4月> 修士(美学)
		アートラボ※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ アートシンキング・デザインシンキング※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ アート・デザインコミュニケーション※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 視覚芸術論 ミュージアム・スタディーズ グローバル共創科学卒業研究
専	助教	川崎和也 <令和5年4月> 博士(学術)
		日本語リテラシー・770-基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 共創科学調査法※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ エスニシティ論 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	助教	太田美帆 <令和5年4月> 修士(人間科学)※
		日本語リテラシー・770-基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 国際福祉社会論 グローバル共創科学卒業研究
兼任	教授	粟井光一郎 <令和5年10月> 博士(理学)
		暮らしの科学※ カーボンニュートラル科学※ 安全管理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小池亨 <令和5年4月> 博士(理学)
		共創科学実験法(自然科学) バイオエコノミー概論※ 生物多様性保全論※ 生命圏循環共生学研究Ⅰ 生命圏循環共生学研究Ⅱ 生命圏循環共生学演習Ⅰ 生命圏循環共生学演習Ⅱ 基礎生物学 グローバル共創科学卒業研究
専	講師	立花由美子 <令和5年4月> 修士(美学)
		アートラボ※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ アートシンキング・デザインシンキング※ 国際地域共生概論A(静岡・日本)※ アート・デザインコミュニケーション※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 視覚芸術論 ミュージアム・スタディーズ グローバル共創科学卒業研究
専	講師	川崎和也 <令和5年4月> 博士(学術)
		<b>新入生セミナー</b> 日本語リテラシー・770-基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 共創科学調査法※ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 国際地域共生概論B(アジア・オセアニア)※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ エスニシティ論 国際地域ケーススタディ グローバル共創科学卒業研究
専	助教	太田美帆 <令和5年4月> 修士(人間科学)※
		日本語リテラシー・770-基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ バイオエコノミー概論※ コミュニティ基礎論※ 国際地域共生学研究Ⅰ 国際地域共生学研究Ⅱ 国際地域共生学演習Ⅰ 国際地域共生学演習Ⅱ 国際地域ケーススタディ 国際福祉社会論 グローバル共創科学卒業研究
兼任	教授	粟井光一郎 <令和5年10月> 博士(理学)
		暮らしの科学※ カーボンニュートラル科学※ 安全管理 <b>生命科学※</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宇賀田栄次 <令和5年4月> 修士(大学アドミニストレーション)
		キャリアデザイン※ 現代の社会※ コミュニティサービスラーニング ファシリテーション概論
兼任	教授	村越真 <令和5年4月> 博士(心理学)
		健康体育演習 スポーツ心理学 安全とリスクの心理学※
兼任	教授	Lucia Emiko Yamamoto <令和6年4月> 博士(文学)
		多文化共生論 国際移動論
兼任	教授	松田紀子 <令和5年4月> 修士(経済学)※ 修士(国際学)
		ESPI(留学) 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ 国際地域共生概論C(欧米) 国際地域ケーススタディ
兼任	教授	井柳美紀 <令和6年10月> 博士(法学)
		政治と社会
兼任	教授	今泉文寿 <令和7年10月> 博士(農学)
		森林水文学※ 技術者倫理
兼任	教授	本橋令子 <令和5年4月> 博士(農学)
		科学と技術※ バイオエコノミー概論※ バイオテクノロジー
兼任	教授	案野香子 <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		日本語Ⅱ 日本語Ⅳ
兼任	教授	岡端隆 <令和6年4月> 体育学修士
		スポーツⅠ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	宇賀田栄次 <令和5年4月> 修士(大学アドミニストレーション)
		キャリアデザイン※ 現代の社会※ コミュニティサービスラーニング ファシリテーション概論
兼任	教授	村越真 <令和5年4月> 博士(心理学)
		健康体育演習 スポーツ心理学 安全とリスクの心理学※
兼任	教授	Lucia Emiko Yamamoto <令和6年4月> 博士(文学)
		多文化共生論 国際移動論
兼任	教授	松田紀子 <令和5年4月> 修士(経済学)※ 修士(国際学)
		ESPI(留学) 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ 国際地域共生概論C(欧米) 国際地域ケーススタディ
兼任	教授	井柳美紀 <令和6年10月> 博士(法学)
		政治と社会
兼任	教授	今泉文寿 <令和7年4月> 博士(農学)
		森林水文学※ 技術者倫理
兼任	教授	本橋令子 <令和5年4月> 博士(農学)
		科学と技術※ バイオエコノミー概論※ バイオテクノロジー
兼任	教授	案野香子 <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		日本語Ⅱ 日本語Ⅳ
兼任	教授	岡端隆 <令和5年10月> 体育学修士
		スポーツⅠ 健康体育実技Ⅱ



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	熊井浩子 <令和5年4月> 修士(国際学)
		英語海外研修B 日本語Ⅰ 日本語Ⅲ
兼任	教授	栗原誠 <令和6年4月> 博士(理学)
		化学の世界
兼任	教授	佐藤信一 <令和6年4月> 博士(工学)
		自然と物理
兼任	教授	山田雅章 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	教授	小川直人 <令和6年4月> 博士(農学)
		化学の世界 環境微生物学※
兼任	教授	小島陽一 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	教授	小二田誠二 <令和6年4月> 修士(文学)
		ことばと表現
兼任	教授	森野和弥 <令和5年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション 総合英語ⅡA
兼任	教授	川本竜彦 <令和6年10月> 博士(理学)
		地球科学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	熊井浩子 <令和5年4月> 修士(国際学)
		英語海外研修B 日本語Ⅰ 日本語Ⅲ
兼任	教授	栗原誠 <令和6年4月> 博士(理学)
		化学の世界
兼任	教授	佐藤信一 <令和6年4月> 博士(工学)
		自然と物理
兼任	教授	山田雅章 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	教授	小川直人 <令和6年4月> 博士(農学)
		化学の世界 環境微生物学※
兼任	教授	小島陽一 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	教授	小二田誠二 <令和6年4月> 修士(文学)
		ことばと表現
兼任	教授	森野和弥 <令和5年4月> 文学修士
		英語コミュニケーション 総合英語ⅡA
兼任	教授	川本竜彦 <令和6年10月> 博士(理学)
		地球科学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	冬木春子 <令和5年10月> 博士(学術)
		現代の社会※
兼任	教授	藤井真生 <令和6年10月> 博士(文学)
		歴史と文化
兼任	教授	松本敏隆 <令和6年10月> 博士(理学)
		数学の世界
兼任	教授	北村晃寿 <令和6年4月> 学術博士
		基礎地学
兼任	教授	宮原高志 <令和7年4月> 博士(工学)
		環境工学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	冬木春子 <令和6年4月> 博士(学術)
		現代の社会※
兼任	教授	藤井真生 <令和6年10月> 博士(文学)
		歴史と文化
兼任	教授	松本敏隆 <令和6年10月> 博士(理学)
		数学の世界
兼任	教授	北村晃寿 <令和6年4月> 学術博士
		基礎地学
兼任	教授	宮原高志 <令和7年4月> 博士(工学)
		環境工学
兼任	教授	川瀬憲子 <令和6年4月> 博士(経済学)
		経済と社会
兼任	教授	宇都宮裕章 <令和5年10月> 修士(教育学)
		日本語Ⅲ
兼任	教授	大村光弘 <令和5年4月> 修士(教育学) 修士(文学)※
		中級英語A
兼任	教授	岡林利明 <令和7年4月> 博士(理学)
		生活の科学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山本隆太 <令和5年10月> 博士(学術)
		コホ'ラティブ・ア'フ'ロ-f基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 観光振興論
兼任	准教授	山本崇記 <令和5年4月> 博士(学術)
		現代の社会※ コホ'ラティブ・ア'フ'ロ-f基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 社会的排除とソーシャルインクルージョン※
兼任	准教授	大西由香 <令和6年10月> 博士(理学)
		遺伝資源・知的所有権論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河村道彦 <令和5年10月> 教育学修士※
		中級英語B
兼任	教授	熊谷滋子 <令和5年10月> 教育学修士
		総合英語ⅠA
兼任	教授	鈴木実佳 <令和5年10月> Doctor of philosophy(英国)
		上級英語B
兼任	教授	徳元俊伸 <令和7年4月> 博士(理学)
		生命科学※
兼任	教授	丸山修 <令和5年4月> 文学修士※
		中級英語A
兼任	准教授	山本隆太 <令和5年10月> 博士(学術)
		コホ'ラティブ・ア'フ'ロ-f基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 観光振興論
兼任	教授	山本崇記 <令和5年10月> 博士(学術)
		現代の社会※ コホ'ラティブ・ア'フ'ロ-f基礎演習 コラボラティブ・ワークスⅠ コラボラティブ・ワークスⅡ コラボラティブ・ワークスⅢ コラボラティブ・ワークスⅣ 国際地域社会とダイバーシティ ※ 社会的排除とソーシャルインクルージョン※
兼任	准教授	大西由香 <令和6年10月> 博士(理学)
		遺伝資源・知的所有権論※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一家崇志 <令和6年10月> 博士(農学)
		遺伝資源・知的所有権論※
兼任	准教授	山本好比古 <令和5年4月> Doctor of Philosophy (Education)(豪州)
		英語コミュニケーション 英語インテンシブA 英語インテンシブC 総合英語ⅡB 総合英語ⅡC ESPⅠ(留学) ESPⅡ(地域) ビジネスイングリッシュ 英語海外研修B 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ
兼任	准教授	宗林留美 <令和6年10月> 博士(理学)
		生物多様性保全論※
兼任	准教授	松尾由希子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		ジェンダー・セクシュアリティ スタディーズ
兼任	准教授	原田賢治 <令和5年4月> 博士(工学)
		防災・減災論※ 自然災害の現象 バイオエコノミー概論※
兼任	准教授	小杉素子 <令和6年10月> 博士(文学)
		安全とリスクの心理学※
兼任	准教授	川原崎知洋 <令和5年4月> 修士(教育学)
		アートシキング・デザ・インシキング※ アート・デザ・インコミュニケーション※
兼任	准教授	本條晴一郎 <令和6年10月> 博士(学術) 博士(経営学)
		マネジメント論 現代マーケティング論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一家崇志 <令和6年10月> 博士(農学)
		遺伝資源・知的所有権論※
兼任	准教授	山本好比古 <令和5年4月> Doctor of Philosophy (Education)(豪州)
		英語コミュニケーション 英語インテンシブA 英語インテンシブC 総合英語ⅡB 総合英語ⅡC ESPⅠ(留学) ESPⅡ(地域) ビジネスイングリッシュ 英語海外研修B 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ
兼任	准教授	宗林留美 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物多様性保全論※ <b>進化と地球環境※</b>
兼任	准教授	松尾由希子 <令和7年4月> 博士(教育学)
		ジェンダー・セクシュアリティ スタディーズ
兼任	准教授	原田賢治 <令和5年4月> 博士(工学)
		防災・減災論※ 自然災害の現象 バイオエコノミー概論※
兼任	准教授	小杉素子 <令和6年10月> 博士(文学)
		安全とリスクの心理学※
兼任	准教授	川原崎知洋 <令和5年4月> 修士(教育学)
		アートシキング・デザ・インシキング※ アート・デザ・インコミュニケーション※
兼任	准教授	

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	前東晃礼 <令和5年10月> 博士(情報科学)
		共創科学実験法(人間科学)※ 現代社会の認知科学※ 身体・認知情報システム論
兼任	准教授	永田正樹 <令和6年10月> 博士(工学)
		プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ 情報通信技術論 情報通信技術演習
兼任	准教授	Jeffrey D. Shaffer <令和5年4月> 教育学修士(TESOL)(米国)
		英語コミュニケーション 中級英語C 上級英語B 上級英語D 総合英語ⅡA 総合英語Ⅲ Oral CommunicationⅠ Oral CommunicationⅡ Reading & DiscussionⅠ Reading & DiscussionⅡ
兼任	准教授	中村美智太郎 <令和7年4月> 博士(学術)
		芸術と教育
兼任	准教授	Steven Todd Urick <令和5年4月> MA in TESOL(米国)
		英語コミュニケーション 中級英語D 上級英語C 総合英語ⅠA 英語海外研修A Oral CommunicationⅠ Oral CommunicationⅡ Reading & DiscussionⅠ Reading & DiscussionⅡ
兼任	准教授	ライアン優子 <令和5年4月> Master of Science with Distinction(英国)
		英語海外研修A
兼任	准教授	雨森聡 <令和5年4月> 修士(社会科学)※
		キャリアデザイン※ 現代の社会※

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	前東晃礼 <令和5年10月> 博士(情報科学)
		共創科学実験法(人間科学)※ 現代社会の認知科学※ 身体・認知情報システム論
兼任	准教授	永田正樹 <令和5年4月> 博士(工学)
		情報処理・データサイエンス演習 プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ 情報通信技術論 情報通信技術演習
兼任	准教授	Jeffrey D. Shaffer <令和5年4月> 教育学修士(TESOL)(米国)
		英語コミュニケーション 中級英語C 上級英語B 上級英語D 総合英語ⅡA 総合英語Ⅲ Reading & DiscussionⅠ Reading & DiscussionⅡ
兼任	准教授	中村美智太郎 <令和7年4月> 博士(学術)
		芸術と教育
兼任	准教授	Steven Todd Urick <令和5年4月> MA in TESOL(米国)
		英語コミュニケーション 中級英語D 上級英語C 総合英語ⅠA 英語海外研修A Oral CommunicationⅠ Oral CommunicationⅡ Reading & DiscussionⅠ Reading & DiscussionⅡ
兼任	准教授	ライアン優子 <令和5年4月> Master of Science with Distinction(英国)
		英語海外研修A
兼任	准教授	雨森聡 <令和5年4月> 修士(社会科学)※
		キャリアデザイン※ 現代の社会※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤真希 <令和6年4月> 博士(人文科学)
		哲学
兼任	准教授	小林研治 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	准教授	松野和子 <令和5年4月> 博士(学術)
		英語コミュニケーション 英語演習 基礎英語A 基礎英語B
兼任	准教授	杉山卓也 <令和5年10月> 博士(体育学)
		健康体育実技Ⅱ
兼任	准教授	生川友恒 <令和5年10月> 修士(社会デザイン学)
		現代の社会※
兼任	准教授	中條暁仁 <令和6年4月> 博士(文学)
		地域と文化
兼任	准教授	中村彰彦 <令和6年4月> 博士(農学)
		生物と環境
兼任	准教授	天野豊己 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物と環境
兼任	准教授	田阪美樹 <令和6年10月> 博士(理学)
		地球科学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	齋藤真希 <令和6年4月> 博士(人文科学)
		哲学
兼任	准教授	小林研治 <令和6年4月> 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	准教授	松野和子 <令和5年4月> 博士(学術)
		英語コミュニケーション 英語演習 基礎英語A 基礎英語B
兼任	准教授	杉山卓也 <令和5年10月> 博士(体育学)
		健康体育実技Ⅱ
兼任	准教授	生川友恒 <令和6年4月> 修士(社会デザイン学)
		現代の社会※
兼任	准教授	中條暁仁 <令和6年4月> 博士(文学)
		地域と文化
兼任	准教授	中村彰彦 <令和6年4月> 博士(農学)
		生物と環境 <b>物理の世界</b>
兼任	准教授	天野豊己 <令和6年4月> 博士(理学)
		生物と環境
兼任	准教授	田阪美樹 <令和6年10月> 博士(理学)
		地球科学※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯尾淳弘 <令和6年4月> 博士(農学)
		生物と環境
兼任	准教授	保坂哲也 <令和6年4月> 博士(理学)
		数理の構造
兼任	准教授	野津一浩 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		健康体育演習
兼任	准教授	鈴木拓也 <令和6年4月> 修士(商学)
		経済と社会
兼任	准教授	鮫島玲子 <令和7年10月> 博士(農学)
		環境微生物学※
兼任	准教授	翟勇 <令和5年10月> 博士(文学)
		世界のことばと文化

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	飯尾淳弘 <令和6年4月> 博士(農学)
		生物と環境
兼任	准教授	保坂哲也 <令和6年4月> 博士(理学)
		数理の構造
兼任	准教授	野津一浩 <令和5年4月> 修士(教育学)※
		健康体育演習
兼任	准教授	鮫島玲子 <令和7年10月> 博士(農学)
		環境微生物学※
兼任	准教授	翟勇 <令和5年10月> 博士(文学)
		世界のことばと文化
兼任	准教授	赤田信一 <令和5年4月> 修士(体育学)
		健康体育実技 I
兼任	准教授	牛場智 <令和6年10月> 博士(創造都市)
		マネジメント論 現代マーケティング論
兼任	准教授	佐々木良造 <令和5年4月> 修士(文学)
		日本語 II ABPインターンシップ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	滑田明暢 <令和5年4月> 博士(文学) 数理・データサイエンス入門 キャリアデザイン※ 共創科学調査法※ 社会・集団・家族心理学
兼任	講師	金子泰之 <令和7年4月> 博士(心理学) 発達心理学
兼任	講師	内山智尋 <令和7年10月> 修士(MA開発学)(オランダ) 修士(社会福祉学)(中国) 修士(社会学)(中国) 観光振興論
兼任	講師	原瑠璃彦 <令和7年10月> 博士(学術) 表象・メディア・文化
兼任	講師	屋代滯 <令和5年4月> 修士(体育学) スポーツⅡ 健康体育実技Ⅰ 健康体育演習
兼任	講師	後藤友香理 <令和6年4月> 博士(音楽) 芸術論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木雄太郎 <令和6年4月> 博士(理学) 進化と地球環境※
兼任	准教授	横田宏樹 <令和5年4月> 博士(経済学) バイオエコノミー概論※
兼任	准教授	松原仁美 <令和6年4月> 博士(経済学) 国際社会と日本
兼任	講師	滑田明暢 <令和5年4月> 博士(文学) 数理・データサイエンス入門 キャリアデザイン※ 共創科学調査法※ 社会・集団・家族心理学
兼任	講師	金子泰之 <令和7年4月> 博士(心理学) 発達心理学
兼任	講師	内山智尋 <令和7年10月> 修士(MA開発学)(オランダ) 修士(社会福祉学)(中国) 修士(社会学)(中国) 観光振興論
兼任	講師	原瑠璃彦 <令和7年10月> 博士(学術) 表象・メディア・文化
兼任	講師	屋代滯 <令和5年4月> 修士(体育学) スポーツⅡ 健康体育実技Ⅰ 健康体育演習
兼任	准教授	後藤友香理 <令和6年4月> 博士(音楽) 芸術論



専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大瀧綾乃 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		英語コミュニケーション
兼任	助教	江草智弘 ＜令和7年10月＞ 博士(農学)
		森林水文学※
兼任	助教	佐川祥予 ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		英語海外研修A
兼任	助教	小川敬多 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	助教	小堀光 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※ 基礎物理学
兼任	助教	大竹彩加 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※
		英語コミュニケーション 英語演習 基礎英語C 中級英語B 英語インテンシブB 英語インテンシブD
兼任	助教	田中孝 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大瀧綾乃 ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	辻佐保子 ＜令和5年10月＞ 修士(文学)※
		中級英語B
兼任	助教	江草智弘 ＜令和7年4月＞ 博士(農学)
		森林水文学※
兼任	講師	佐川祥予 ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		英語海外研修A
兼任	助教	小川敬多 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	准教授	小堀光 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※ 基礎物理学
兼任	助教	大竹彩加 ＜令和5年4月＞ 修士(学術)※
		英語コミュニケーション 英語演習 基礎英語B 基礎英語C 中級英語B 英語インテンシブB 英語インテンシブD
兼任	助教	田中孝 ＜令和6年4月＞ 博士(農学)
		科学と技術※
兼任	助教	チヨチヨル明子 ＜令和5年4月＞ 修士(学術) Master of Education(米国)
		英語コミュニケーション 総合英語IA 海外研修プログラムI 海外研修プログラムII

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Anthony Day <令和6年4月> Bachelor of Education (豪州)
		総合英語 I B
兼任	講師	Kenneth Groger <令和5年4月> Master of Arts in TESL/TEFL (米国)
		英語演習 上級英語 A
兼任	講師	Lewis Allen Schilb <令和5年10月> Bachelor of Science (Animal Science) (米国)
		総合英語 I A
兼任	講師	Bingol, Deniz Tekin <令和5年4月> MA Comparative Literature (米 国)
		英語コミュニケーション 総合英語 I A
兼任	講師	パトリック ハリントン <令和5年4月> MA Linguistics (英国) RSA/Cambridge Diploma in TEFL (英国)
		中級英語 B 上級英語 A
兼任	講師	Marcus Grandon <令和6年4月> Ph. D. Applied Linguistics (英 国)
		中級英語 C 総合英語 I C
兼任	講師	マックローリー クリス <令和5年4月> Bachelor of Business Administration (米国)
		英語コミュニケーション 基礎英語 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	PETERS MICHAEL K <令和5年4月> 修士(国際関係学)
		英語コミュニケーション Oral Communication I Oral Communication II
兼任	講師	Anthony Day <令和6年4月> Bachelor of Education (豪州)
		総合英語 I B
兼任	講師	Kenneth Groger <令和5年4月> Master of Arts in TESL/TEFL (米国)
		英語コミュニケーション 英語演習 中級英語 D 上級英語 A 上級英語 C
兼任	講師	Lewis Allen Schilb <令和5年10月> Bachelor of Science (Animal Science) (米国)
		総合英語 I A
兼任	講師	Bingol, Deniz Tekin <令和5年4月> MA Comparative Literature (米 国)
		英語コミュニケーション 総合英語 I A
兼任	講師	パトリック ハリントン <令和5年4月> MA Linguistics (英国) RSA/Cambridge Diploma in TEFL (英国)
		中級英語 B 上級英語 A
兼任	講師	Marcus Grandon <令和6年4月> Ph. D. Applied Linguistics (英 国)
		中級英語 C 総合英語 I C
兼任	講師	マックローリー クリス <令和5年4月> Bachelor of Business Administration (米国)
		英語コミュニケーション 基礎英語 B 中級英語 B Oral Communication I Oral Communication II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	レッドフォード賀代子 <令和5年4月> 修士(英語日本語会議通訳翻訳学科) 修士(外国語教育)
		基礎英語A 基礎英語B
兼任	講師	永倉由里 <令和5年4月> Master of Arts in TESL/TEFL (英国)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	加藤和美 <令和6年4月> 修士(英語教育学)
		基礎英語C
兼任	講師	河合学 <令和5年10月> 体育学士
		健康体育実技Ⅱ
兼任	講師	久保田育子 <令和5年4月> 学術修士※
		中級英語A
兼任	講師	宮原時彦 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(医学)※
		健康体育実技Ⅰ
兼任	講師	原澤伊都夫 <令和6年10月> 修士(日本語応用言語学)(豪州)
		日本事情
兼任	講師	向山守 <令和5年4月> 修士(文学)
		基礎英語A 基礎英語B
兼任	講師	高根信吾 <令和6年4月> 修士(体育学) 修士(体育科学)※
		スポーツⅠ スポーツⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	レッドフォード賀代子 <令和5年4月> 修士(英語日本語会議通訳翻訳学科) 修士(外国語教育)
		英語コミュニケーション 基礎英語A 基礎英語B 総合英語ⅠA
兼任	講師	永倉由里 <令和5年4月> Master of Arts in TESL/TEFL (英国)
		英語コミュニケーション 基礎英語A 基礎英語B
兼任	講師	加藤和美 <令和6年4月> 修士(英語教育学)
		基礎英語C
兼任	講師	河合学 <令和5年10月> 体育学士
		健康体育実技Ⅱ
兼任	講師	久保田育子 <令和5年4月> 学術修士※
		中級英語A
兼任	講師	宮原時彦 <令和5年4月> 修士(教育学) 博士(医学)※
		健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ
兼任	講師	原澤伊都夫 <令和6年10月> 修士(日本語応用言語学)(豪州)
		日本事情
兼任	講師	向山守 <令和5年4月> 修士(文学)
		基礎英語A 基礎英語B
兼任	講師	高根信吾 <令和6年4月> 修士(体育学) 修士(体育科学)※
		スポーツⅠ スポーツⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柴田陽介 <令和6年4月> 博士(医学)
		スポーツ I
兼任	講師	周佩芳 <令和6年4月> 修士(教育学)
		スポーツ I
兼任	講師	出口友香理 <令和5年4月> MA in English Language Teaching (英国)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	新妻明子 <令和5年4月> 修士(英語教育)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	須田孝司 <令和6年4月> 博士(文学)
		基礎英語 C
兼任	講師	大村佳子 <令和5年4月> 修士(文学)※
		基礎英語 A 基礎英語 B
兼任	講師	中川ジェーン <令和5年4月> 言語学修士(米国)
		上級英語 A
兼任	講師	長津恒輝 <令和6年10月> 修士(教育学)
		スポーツ II
兼任	講師	辻直人 <令和5年4月> 教育学修士
		英語コミュニケーション 基礎英語 A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	柴田陽介 <令和6年4月> 博士(医学)
		スポーツ I
兼任	講師	周佩芳 <令和6年4月> 修士(教育学)
		スポーツ I
兼任	講師	出口友香理 <令和5年4月> MA in English Language Teaching (英国)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	新妻明子 <令和5年4月> 修士(英語教育)
		英語コミュニケーション
兼任	講師	須田孝司 <令和5年4月> 博士(文学)
		基礎英語 C 中級英語 A
兼任	講師	大村佳子 <令和5年4月> 修士(文学)※
		基礎英語 A 基礎英語 B
兼任	講師	中川ジェーン <令和5年4月> 言語学修士(米国)
		上級英語 A
兼任	講師	長津恒輝 <令和6年10月> 修士(教育学)
		スポーツ II
兼任	講師	辻直人 <令和5年4月> 教育学修士
		英語コミュニケーション 基礎英語 A 基礎英語 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辻川比呂斗 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ
兼任	講師	田中裕実 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		英語コミュニケーション 基礎英語A 中級英語B
兼任	講師	内田恵 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーション 基礎英語B
兼任	講師	林恵嗣 ＜令和6年10月＞ 博士(学術)
		スポーツⅡ
兼任	講師	鈴木バトリシア ＜令和5年10月＞ Bachelor of Arts in History (米国)
		基礎英語B
兼任	講師	鈴木加奈子 ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching English to Speakers of Other Languages(豪州)
		日本語V
兼任	講師	鈴木和美 ＜令和6年10月＞ 修士(教育学)
		日本語VI

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	辻川比呂斗 ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ
兼任	講師	田中裕実 ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		英語コミュニケーション 基礎英語A 中級英語B
兼任	講師	内田恵 ＜令和5年4月＞ 文学修士
		英語コミュニケーション 基礎英語B
兼任	講師	林恵嗣 ＜令和6年10月＞ 博士(学術)
		スポーツⅡ
兼任	講師	鈴木バトリシア ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts in History (米国)
		英語コミュニケーション 基礎英語B 総合英語ⅠA
兼任	講師	鈴木加奈子 ＜令和6年4月＞ Master of Arts in Teaching English to Speakers of Other Languages(豪州)
		日本語V
兼任	講師	鈴木和美 ＜令和6年10月＞ 修士(教育学)
		日本語VI
兼任	講師	青木悠史郎 ＜令和5年4月＞ 修士(理学)
		基礎数学
兼任	講師	浅間正通 ＜令和5年4月＞ 教育学修士
		基礎英語A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	勝又政和 <令和5年4月> 博士(環境科学)
					バイオエコノミー概論※
			兼任	講師	柴田大輔 <令和5年4月> 農学博士
					バイオエコノミー概論※
			兼任	講師	白畑知彦 <令和5年4月> 博士(文学)
					上級英語A
			兼任	講師	坂元雄二 <令和5年4月> 農学修士
					バイオエコノミー概論※
			兼任	講師	深村葉子 <令和5年4月> 文学修士
					中級英語A
			兼任	講師	田村望 <令和5年10月> 修士(国際政治経済学)
					基礎英語B
			兼任	講師	村野直弘 <令和5年4月> 体育学士
					健康体育実技Ⅰ 健康体育実技Ⅱ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
  - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当教員の見直しのため、下村勝教授の担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・担当教員の見直しのため、Greenidge Darius C教授の担当授業科目から、「Oral Communication I」「Oral Communication II」を削除。
- ・担当教員の見直しのため、松倉美奈子教授の担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・担当教員の見直しのため、石川宏之准教授の担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・担当教員の見直しのため、堀池徳祐准教授の担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・退職のため、八柳祐一准教授に関して次のとおり変更。
  - 当該教員を兼任講師に変更し、「AI基礎」「AI演習」を引き続き担当。担当科目変更に伴い、当該教員の就任予定年を「令和6年10月」に変更。
  - 「情報処理・データサイエンス演習」は、永田正樹兼准教授に変更。担当科目追加に伴い、当該教員の就任予定年を「令和5年4月」に変更。
  - 青木悠史郎兼任講師を配置し、「基礎数学」を担当。
  - 「生命圏循環共生学研究Ⅰ及びⅡ」「生命圏循環共生学演習Ⅰ及びⅡ」「グローバル共創科学卒業研究」は、担当教員を減。
- ・担当教員の見直しのため、平嶋裕輔講師の担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・昇任のため、川崎和也助教を講師に変更。担当教員の見直しのため、担当授業科目に、「新入生セミナー」を追加。令和4年12月教員審査済み。
- ・科目の追加のため、栗井光一郎兼担教授の担当授業科目に、「生命科学」を追加。
- ・担当授業科目の開講時期変更のため、今泉文寿兼担教授の就任予定年を「令和7年4月」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、岡端隆兼担教授の担当授業科目に、「健康体育実技Ⅱ」を追加し、就任予定年を「令和5年10月」に変更。
- ・担当授業科目の開講時期変更のため、冬木春子兼担教授の就任予定年を「令和6年4月」に変更。
- ・鈴木拓也兼担教授の退職のため、川瀬憲子兼担教授を配置し、「経済と社会」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、宇都宮裕章兼担教授を配置し、「日本語Ⅲ」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、木村光弘兼担教授を配置し、「中級英語A」を担当。
- ・科目の追加のため、岡林利明兼担教授を配置し、「生活の科学」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、河村道彦兼担教授を配置し、「中級英語B」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、熊谷滋子兼担教授を配置し、「総合英語ⅠA」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、鈴木実佳兼担教授を配置し、「上級英語B」を担当。
- ・科目の追加のため、徳元俊伸兼担教授を配置し、「生命科学」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、丸山修兼担教授を配置し、「中級英語A」を担当。
- ・昇任のため、山本崇記兼担教授を兼任教授に変更。担当授業科目の開講時期変更のため、就任予定年を「令和5年10月」に変更。
- ・科目の追加のため、宗村留美兼担教授の担当授業科目に、「進化と地球環境」を追加し、就任予定年を「令和6年4月」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、本條晴一郎兼担教授を削除。
- ・担当教員の見直しのため、Jeffrey D. Shaffer兼担教授の担当授業科目から、「Oral Communication I」「Oral Communication II」を削除。
- ・退職のため、Steven Todd Urick兼担教授を削除。
- ・担当授業科目の開講時期変更のため、生川友恒兼担教授の就任予定年を「令和6年4月」に変更。
- ・科目の追加のため、中村彰彦兼担教授の担当授業科目に、「物理の世界」を追加。
- ・退職のため、鈴木拓也兼担教授を削除。
- ・担当教員の見直しのため、赤田信一兼担教授を配置し、「健康体育実技Ⅰ」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、牛嶋智兼担教授を配置し、「マネジメント論」「現代マーケティング論」を担当。
- ・担当教員の見直し及び科目の追加のため、佐々木良造兼担教授を配置し、「日本語Ⅱ」「ABPインターンシップ」を担当。
- ・科目の追加のため、鈴木雄太郎兼担教授を配置し、「進化と地球環境」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、横田宏樹兼担教授を配置し、「バイオエコノミー概論」を担当。
- ・科目の追加のため、松原仁美兼担教授を配置し、「国際社会と日本」を担当。
- ・昇任のため、後藤友香理兼担講師を兼任教授に変更。
- ・担当教員の見直しのため、辻佐保子兼担講師を配置し、「中級英語B」を担当。
- ・担当授業科目の開講時期変更のため、江草智弘兼担助教の就任予定年を「令和7年4月」に変更。
- ・昇任のため、佐川祥予兼担助教を兼任講師に変更。
- ・昇任のため、小堀光兼担助教を兼任教授に変更。
- ・担当教員の見直しのため、大竹彩加兼担助教の担当授業科目に、「基礎英語B」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、チョテヨル明子兼担助教を配置し、「英語コミュニケーション」「総合英語ⅠA」「海外研修プログラムⅠ」「海外研修プログラムⅡ」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、PETERS MI OHAEL K兼担助教を配置し、「英語コミュニケーション」「Oral Communication I」「Oral Communication II」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、Kenneth Groger兼任講師の担当授業科目に、「英語コミュニケーション」「中級英語D」「上級英語C」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、マックローリークリス兼任講師の担当授業科目に、「中級英語B」「Oral Communication I」「Oral Communication II」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、レッドフォード賀代子兼任講師の担当授業科目に、「英語コミュニケーション」「総合英語ⅠA」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、永倉由里兼任講師の担当授業科目に、「基礎英語A」「基礎英語B」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、宮原時彦兼任講師の担当授業科目に、「健康体育実技Ⅱ」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、須田孝司兼任講師の担当授業科目に、「中級英語A」を追加し、就任予定年を「令和5年4月」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、辻直人兼任講師の担当授業科目に、「基礎英語B」を追加。
- ・担当教員の見直しのため、鈴木バトリア兼任講師の担当授業科目に、「英語コミュニケーション」「総合英語ⅠA」を追加し、就任予定年を「令和5年4月」に変更。
- ・担当教員の見直しのため、浅間正通兼任講師を配置し、「基礎英語A」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、勝又政和兼任講師を配置し、「バイオエコノミー概論」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、柴田大輔兼任講師を配置し、「バイオエコノミー概論」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、白畑知彦兼任講師を配置し、「上級英語A」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、坂元雄二兼任講師を配置し、「バイオエコノミー概論」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、浜村葉子兼任講師を配置し、「中級英語A」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、田村望兼任講師を配置し、「基礎英語B」を担当。
- ・担当教員の見直しのため、村野直弘兼任講師を配置し、「健康体育実技Ⅰ」「健康体育実技Ⅱ」を担当。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
  - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
15	8
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。  
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
13	9	3	2	27	0	13	8	4	1	26	0
(13)	(8)	(4)	(1)	(26)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
13	8	4	1	26	0	13	9	4	1	27	0
[0]	[Δ1]	[1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{26}{27} = \boxed{96.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
								必修	選択	自由			
1	准教授	八柳 祐一	R5.3	必修	基礎数学	②	R5.3退職のため就任辞退(5)						
				必修	情報処理・データサイエンス演習	②							
				必修	AI基礎	②							
				選択	AI演習	②							
				選択	生命圏循環共生学研究Ⅰ	③							
				選択	生命圏循環共生学研究Ⅱ	③							
				選択	生命圏循環共生学演習Ⅰ	③							
				選択	生命圏循環共生学演習Ⅱ	③							
合計(D)				後任補充状況の集計(E)									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	3	科目	必修	1	科目
		選択	5	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	4	科目	計	5	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
								必修	選択	自由
							該当なし			
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)					
1	人	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	3	科目	必修	1	科目
		選択	5	科目	選択	0	科目	選択	1	科目	選択	4	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	0	科目	計	4	科目	計	5	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{27} = 3.7\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。  
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>令和5年3月に就任辞退した専任教員が担当する授業科目について、「基礎数学」「情報処理・データサイエンス演習」は兼任・兼任教員が授業を担当し、「AI基礎」「AI演習」は、当該教員が兼任教員として引き続き担当するため、学生の授業履修に支障はない。「生命圏循環共生学Ⅰ及びⅡ」「生命圏循環共生学演習Ⅰ及びⅡ」「グローバル共創科学卒業研究」は後任の専任教員を補充予定である。学生には、開講年度のシラバス等において担当教員名を周知予定である。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時  (令和4年)	目的と手段の関係について、「人材養成の目的」は、「～人材を養成すること」と説明しているが、例えば「教育の目的」は、「～人材を養成すること」というように、何が目的か、そのために何をするのか、誤解が生じないよう学生等に対し分かりやすく示すこと。 また、「共創」については、「多様な立場の人々が共に社会課題を解決し、より良い未来社会を実現すること」と定義され、人材養成における目的として説明されているのに対し、共創という「手法」を用いることも人材養成の目的として説明されていることから、目的となるのか手段になるのかといった位置づけについて、誤解が生じないよう学生等に対し分かりやすく示すこと。	「人材養成の目的」と「教育の目的」との関係及び「共創」に関しては、学部ウェブサイトの概要説明ページ（資料1）や新入生セミナーにおいて丁寧に説明を行っている。（5）	履行済
認可時  (令和4年)	ディプロマ・ポリシーに「(5) エビデンスに基づき客観的に社会的課題を分析することができる」ことのみが掲げられているが、授業科目には社会的課題の分析のみならず、課題解決能力の修得を目的としたものが含まれる。このため、「社会的課題を分析し、エビデンスに基づいて解決のための提言を行う技法」までを学ぶことができる教育課程になっていることが学生に伝わりやすいよう、より具体的な記載に改めることが望ましい。	「社会的課題を分析し、エビデンスに基づいて解決のための提言を行う技法」までを学ぶことができる教育課程になっていることが学生に伝わりやすいよう、ディプロマ・ポリシー（5）を、「エビデンスに基づき客観的に社会的課題を分析し、解決のための提言を行うことができる」に改めた。（資料1）（5）	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
    - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】  
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
    - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】  
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<グローバル共創科学部 グローバル共創科学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況(資料2) グローバル共創科学部 教育内部質保証委員会</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 月に2回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 教育内部質保証に係る基本方針及び方策の策定に関する事項 (2) 前号に基づく点検・評価の実施の細目に関する事項 (3) 教育の質の更なる向上及び改善を図るために必要な措置に関する事項 (4) 教育内部質保証に関する研修会の企画・立案・実施に関する事項 (5) 教育内部質保証に係る活動の学内外への周知に関する事項 (6) その他委員会が必要と認めた事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>(1) 授業アンケートの実施 (2) 授業アンケートの結果に基づく教育方法と内容の改善 (3) 授業内容・方法の質の向上に係わる研修会の実施(年2回)</p> <p>b 実施方法</p> <p>(1)に関しては、毎年度7月及び1月に実施する。 (2)に関しては、アンケートの集計が終わり次第、速やかに教育内部質保証委員会において実施する。 (3)に関しては、前期と後期に1回ずつ、教授会の前後の時間を使って実施する。</p> <p>c 開催状況(教員の参加状況含む) 開設初年度である今年度から順次実施する予定である。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>授業アンケートの結果を教員に戻し、授業改善に役立てる。また、教育内部質保証委員会において結果を点検し、改善を要する点については、担当教員に改善を求めるとともに、総務委員会等において情報共有を行う。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 毎年度7月及び1月に実施する予定である。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>本学部の学生及び教職員のみがアクセス可能なサイト等を通じて公開する予定である。</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置の趣旨・目的に記載した計画に基づき、順調に進捗している。
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
今年度、「静岡大学における内部質保証に関する方針」に基づき実施される自己点検・自己評価（各学部による評価も含む）については、令和6年11月に公表する予定である。
b 公表方法
静岡大学ウェブサイト「自己点検・評価」のページで公表する予定である。 <a href="https://www.shizuoka.ac.jp/outline/info/kokai/jikotenken/">https://www.shizuoka.ac.jp/outline/info/kokai/jikotenken/</a>
③ 認証評価を受ける計画
令和9年（2027年）に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）
a 公表予定の有無 [ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ]
≪ a で「有」の場合 ≫
b 公表（予定）時期 [ 調査結果公表後 1ヶ月以内 ・ <input checked="" type="radio"/> 公表後 2～3ヶ月以内 ・ 公表後 3ヶ月以降 ]
c 公表方法 [ <input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ( ) ]
≪ a で公表「無」の場合 ≫
d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

設置計画履行状況調査報告書  
資料目次

資料 1 附帯事項等に対する対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 6

資料 2 静岡大学グローバル共創科学部教育内部質保証委員会規程 ・・・・ 4 7

## 概要

### Outline

静岡大学は、令和5年4月にグローバル共創科学部（入学定員115名）を設置しました。

現在私たちは、地球規模の課題である気候変動問題や、地域社会の最重要課題である地方創生・地域活性化など、あらゆる領域で複雑かつ深刻な問題に直面しています。こうした問題を解決するには、人文・社会科学から自然科学に至る広汎な知をつなぎ、複眼的観点から社会的課題を捉え、その中で生み出される「**総合知**」を活用する必要があります。

#### 人材養成の目的

本学部は、「総合知」を生み出し、活用できる人材を「**共創型人材**」と呼び、こうした人材を育成することを目的としています。

#### 共創の説明

「共創」とは、多様な立場の人々が社会的課題を共に検討し、その解決に取り組むことであり、より良い未来社会を実現するための手法を意味します。今日、社会的課題は、グローバルな広がりをもっていることから、共創型人材には、グローバルな視点から、共創を手法として使いこなすことが求められます。

#### 教育の目的

共創型人材を育成するために、本学部では、人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知識、高度なコミュニケーション能力、データサイエンスのスキル等の育成を教育上の目的としています。本学が有する既存の6学部（人文・教育・情報・理・工・農）の教育成果を融合し、全学学士課程横断型教育プログラムとして実績を積み重ねてきた地域創造学環を発展的に取り込むことに加え、海外研修やデータサイエンスに関する充実したカリキュラムを展開することにより、**実践的で特色ある教育プログラム**を提供しています。

## 3つの方針（ポリシー）／グローバル共創科学部

- ▶ 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
- ▶ 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）
- ▶ カリキュラム・マップ
- ▶ 入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

### グローバル共創科学部 学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）

令和4年11月16日制定

グローバル共創科学部では、地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで、社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ、より良い未来社会を創造するために、人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋ぎ、複眼的観点からものごとを捉える「総合知」を活用し、課題解決に貢献できる人材を育成することを教育目標としており、次に掲げる資質・能力を身につけていることを学士（学術）の学位授与の条件とする。

1. 人文・社会科学から自然科学に至る広汎な基礎的知識を身につけている。
2. 専門的知識を社会のために活用することができる。
3. 人間理解に基づき、価値観や文化が異なる多様な人々と協働できるコミュニケーション力と実践力を身につけている。
4. 地球規模の課題と地域社会の課題を結びつけて検討することができる。
5. エビデンスに基づき客観的に社会的課題を分析し、解決のための提言を行うことができる。
6. 社会的課題の解決策を発想するための創造性を身につけている。



## 静岡大学グローバル共創科学部教育内部質保証委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、静岡大学グローバル共創科学部教授会規則第7条第1項の規定に基づき、グローバル共創科学部教育内部質保証委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 教育内部質保証に係る基本方針及び方策の策定に関する事項
- (2) 前号に基づく点検・評価の実施の細目に関する事項
- (3) 教育の質の更なる向上及び改善を図るために必要な措置に関する事項
- (4) 教育内部質保証に関する研修会の企画・立案・実施に関する事項
- (5) 教育内部質保証に係る活動の学内外への周知に関する事項
- (6) その他委員会が必要と認めた事項

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 委員長
  - (2) 副委員長
  - (3) 学部長が指名する教員 3人
- 2 前項第3号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 第1項第3号の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 学部長が指名する副学部長は、オブザーバーとして委員会に出席する。

(委員長等)

第4条 委員長は委員会を招集し、その議長となる。

- 2 副委員長は委員長を助け、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議の開催)

第5条 委員会は、必要に応じて開催する。

(会議の成立及び議決)

第6条 委員会は、委員（代理者を含む。以下同じ。）の3分の2以上の出席により成立する。

- 2 議事は出席者の過半数の合意により決定し、可否同数のときは、議長がこれを決する。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、グローバル共創科学部事務部において処理する。

(補則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。